

令和7年度学校評価 生徒用 集計結果

令和7年12月
習志野市立第六中学校

教育活動全般についての質問	肯定率		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
(1) 六中は、学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。	93%	96%	96%
(2) 六中の学校行事（体育祭・修学旅行など宿泊行事・合唱コンクール等）は、充実している。	94%	96%	97%
(3) 六中は、歌声が響く学校である。	92%	95%	95%
(4) 六中の生徒は、時と場合に合ったあいさつと言葉遣いができる。	87%	85%	83%
(5) 六中は、清掃が行き届いている学校である。	87%	90%	82%
(6) 六中は校舎内外の施設・設備や事故防止に向けた安全な環境づくりに努めている。	81%	81%	82%
(7) 六中の教職員は、いじめや不登校に対して、親身になって対応している。	92%	95%	95%
(8) 六中の教職員は、生徒の悩みや相談に対して、親身になって対応している。	92%	95%	95%
(9) 六中は、毎学期の学習内容や評価の観点について、わかりやすく伝えている。	93%	95%	95%
(10) 六中の先生の授業はわかりやすい。	91%	92%	96%
(11) 六中の先生は将来の進路や職業について、わかりやすく伝えている。	90%	93%	90%
(12) 六中の学校生活や生徒の様子は学校だよりやホームページ等で知ることができる。	82%	83%	85%
(13) 六中の教育活動におおむね満足している。	90%	93%	93%
自分の事についての質問			
(14) 思いやりや命の大切さについて理解している。	98%	98%	97%
(15) 授業に集中して受けている。	92%	91%	92%
(16) 定期テストの前は、計画的に学習している。	79%	76%	75%
(17) 家庭での学習の習慣が身についている。（塾・習い事などを除く） 【毎日1時間以上・・そう思う 1時間未満30分未満・・ややそう思う 30分未満・・あまりそう思わない】	76%	66%	79%
(18) 上記で「そう思わない」と答えた人は、原因はどこにあり、どうすれば家庭学習が身につくと思いますか。	／	／	別紙
(19) 食事や睡眠など、自分の健康管理に気を付けている。	86%	83%	84%
(20) 歯磨きの習慣や歯に対しての治療には気を付けている。	96%	95%	95%
(21) 家庭では、携帯電話、スマートフォン、メール、SNS 関係、ゲーム等の時間を決めるなどのルールがある。	69%	72%	69%
(21) 六中での学校生活を、より充実・向上させるための「意見」を記入して下さい。	別紙	別紙	別紙

※肯定率については、「そう思う」、「だいたいそう思う」の全体に対する比率となります。なお、「判断できない」、「無回答」については、全体から除いています。

【まとめ】

◎「教育活動全般についての質問」について

<評価点>

例年と同様に肯定率は高く、平均が91%でした。授業を基本とした学校生活、学校行事などに意欲的に取り組み、生徒の個々の成長や自己肯定感の向上がうかがえる結果となりました。

- ・(2)では、生徒の非認知能力を伸ばす上でとても重要な取り組みだと考えています。教育課程の限られた時間の中で、生徒がなるべく多くの経験や体験ができるようにさらに努力していくと共に、より質の高い行事となるようにしていけるように検討を重ねていきます。
- ・(10)では、教科間での共有や職員研修を通じて引き続き、学力向上に向けた“わかる授業”を実践できるように研鑽を積んでいきます。
- ・(12)では、ホームページやTeamsの活用から学校の生活等の情報収集できていると考えられます。引き続き、ホームページやTeamsの活用をするとともに、確実に学校生活等の情報提供ができるよ

うに工夫していきます。

<課題点>

- ・(3)(4)(5)は六中が伝統とする3本柱です。受け継いだ伝統「あいさつ・歌声・清掃」を引き継いでいけるよう日常生活の中で教師が範を示しながら、生徒会を中心に盛り立てていけるよう工夫していきます。また、学校目標に掲げている「活力あふれる生徒の育成」の実現に向けた取り組みの一つになるように支援・指導していきます。

◎「自分の事についての質問」について

<評価点>

- ・(16)(17)では肯定率が上昇し、定期テスト前は計画的に学習に取り組めるようになったと感じます。これが日常的な家庭学習につながるよう、短い時間からでも学習習慣の定着化、見通しを持った学習計画を図るように実践するように声掛けをしていきます。

また、(17)では保護者の評価とギャップがあり、保護者の見方はと生徒自身の評価のとの差を分析していく必要があると考えます。

<課題点>

- ・(21)については、昨年度から肯定率が3%下がり、携帯電話、スマートフォン、メール、SNS関係、ゲーム等の使用における学習への影響、生活習慣への影響、ネット等へのトラブルへの影響などの影響が懸念されます。生徒自身が自分事としてとらえ、正しい使い方への理解を示すようにしていくことが大切であると考えます。利用時間や利用の仕方のルール決めなど御家庭の御協力いただいているところですが、引き続き御協力をお願いします。今後もSNSの正しい利用について学校として生徒自身が理解を深められるように指導していきます。一層御家庭との連携を深め、規則正しい生活習慣が身につくよう御協力をお願いします。

今回の評価を踏まえ、今後の学校運営に活かし、生徒の個々の良さを引き出せる指導・支援により、「六中でよかった」と思える学校作りを目指していきます。